

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T & D ダブルブル・ベア・シリーズ 9（ナスダック100・ダブルベア9）」は、2024年9月10日に第1期決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」を通じて、主として円建の日本国債およびスワップ取引に投資を行い、実質的に日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の「概ね2倍程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dダブルブル・ ベア・シリーズ9 （ナスダック100・ダブルベア9）

商品分類（追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型））

第1期（決算日 2024年9月10日）

作成対象期間：2023年9月8日～2024年9月10日

第1期末（2024年9月10日）	
基準価額	6,081円
純資産総額	2,301百万円
第1期	
騰落率	△39.2%
分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

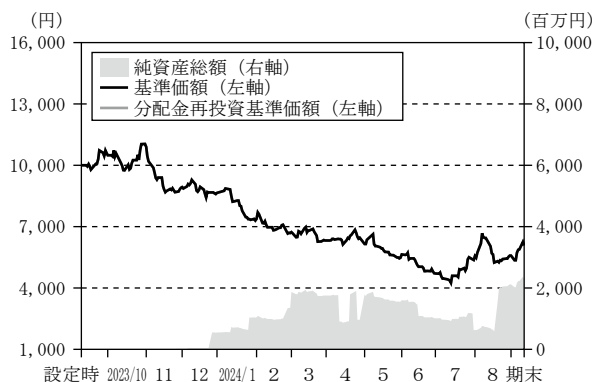
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasst.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：6,081円（既払分配金0円）

騰落率：△39.2%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、設定日（2023年9月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- （注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。ナスダック100指数が上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券	△41.4%
マネーアカウントマザーファンド	0.0%

ナスダック100指数について

Nasdaq®、NASDAQ-100®およびNASDAQ-100 INDEX®は、Nasdaq, Inc.（以下、その関係会社と合わせて「ナスダック」といいます。）の登録商標であり、T&Dアセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックは、T&Dダブルブル・ベア・シリーズ9（ナスダック100・ダブルベア9）（以下、「当ファンド」）の適法性および適格性について保証するものではありません。当ファンドは、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、当ファンドに関していかなる保証も行わず、また、いかなる責任も負担しません。

1口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023/9/8～2024/9/10		
	金額	比率	
平均基準価額	7,253円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	76円 （ 40） （ 32） （ 3）	1.042% (0.555) (0.444) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用）	1 （ 1）	0.012 (0.012)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	77	1.054	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

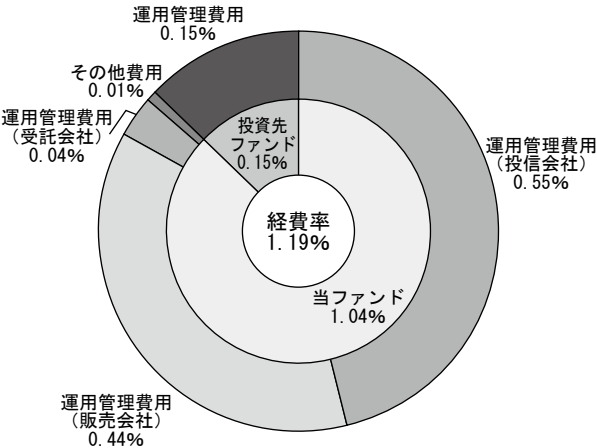
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1万口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は、1.19%です。



経費率 (①+②)	1.19%
①当ファンドの費用の比率	1.04%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15%

(注) ①の費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

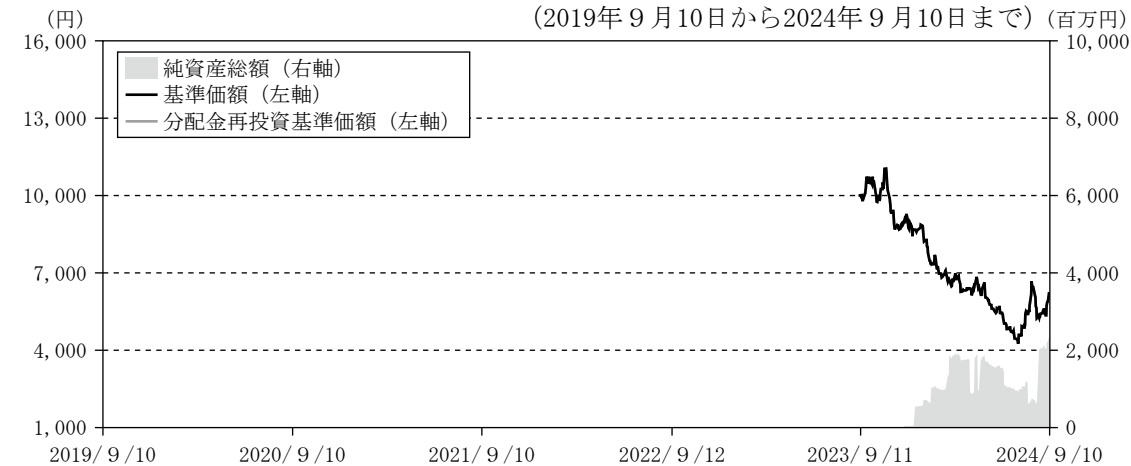
(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近 5 年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2023年 9 月 8 日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2023年 9 月 8 日 設定日	2024年 9 月 10 日 決算日
基準価額（分配前）（円）	10,000	6,081
期間分配金合計（税込み）（円）	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率（％）	—	△ 39.2
純資産総額（百万円）	1	2,301

- (注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の値動きの概ね 2 倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2 日以上離れた日との比較においては概ね 2 倍程度反対の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

投資環境

■ 米国株式市況

当期のナスダック100市場は上昇しました。期初から2023年10月にかけては、コモディティ価格の上昇、金融政策引締めめの長期化観測の高まり、政府閉鎖懸念などが重しとなり下落しました。11月から2024年4月にかけては、利上げ停止や早期利下げ期待から反発し、上昇に転じました。その後は、強弱入り乱れる経済や雇用指標を背景に、先行きの金融政策を巡り上下動を繰り返す展開が続きましたが、半導体関連企業の高業績期待が株価をけん引する形で堅調な動きとなりました。5月から7月上旬にかけては、利上げ懸念が再燃したことから下落する局面もありましたが、弱い経済指標を背景に早期の利下げ期待が高まり上昇しました。7月中旬から期末にかけては、バイデン大統領の選挙出馬撤退表明による政治的不確実性の高まりや、雇用指標の悪化から米景気減速懸念が高まり、急落する局面もありましたが、インフレの鎮静化、消費動向や労働市場の底堅さを示す指標や9月利下げ開始観測の高まりを背景に上昇に転じました。その後は、相場をけん引してきた半導体関連企業の市場予想を下回る決算を受けて、軟調な展開となりました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.15\%$ から期末は 0.08% となりました。期中においては、日銀によるマイナス金利解除や更なる政策金利の引き上げのほか、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

期を通じて、「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」を高位に組み入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入投資信託証券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、「マネーアカウンタマザーファンド」およびコール・ローン等で運用を行いました。

■ パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN.A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組み入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。

■ マネーアカウンタマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移していたため組み入れを見送っていましたが、2024年3月中旬に利回りがプラスとなった国庫短期証券を60%程度組み入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1口当たり・税引前）

項目	当期
	2023年9月8日 ～2024年9月10日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	412

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

■ パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、J PモルガンチェースバンクN. A. などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を継続する方針です。

■ マネーアカウントマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀はマイナス金利政策の解除を行いました。依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は低位で推移すると予想します。

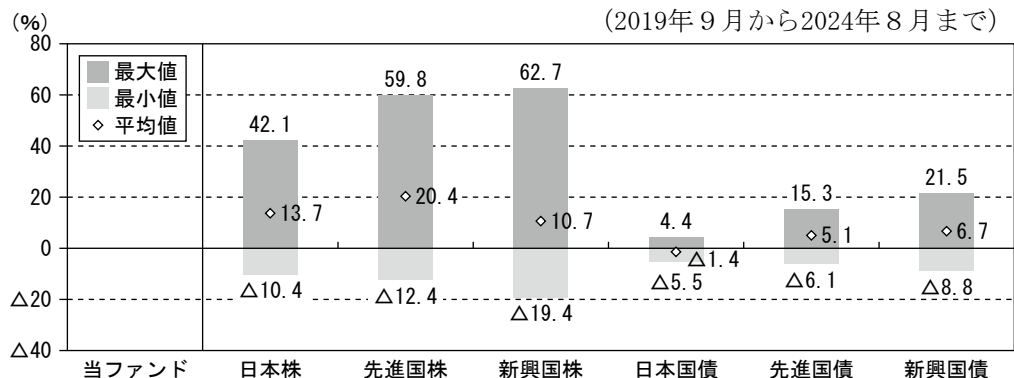
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当 該 投 資 信 託 の 概 要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信 託 期 間	2023年9月8日から2025年9月10日まで	
運 用 方 針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主 要 運 用 対 象	円建の外国投資信託「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」および国内投資信託「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券	主として円建の日本国債を投資対象とします。 J Pモルガンチェースバンク N. A. ロンドン支店、またはJ Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
	パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券	店頭オプション、上場オプション、E T Fに原則として直接投資を行いません。 有価証券の空売りは行いません。
	マネーアカウントマザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注) 上記は、2019年9月から2024年8月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- (注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- (注) 当ファンドは2023年9月8日に設定されたため、表示対象となる数値はありません。

○各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）※1
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）※2
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）※3
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債※4
- 先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）※5
- 新興国債・・・JP モルガンGBI-EM グローバル・ディバースファイド（円ベース）※6
- (注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ※1 東証株価指数（TOPIX）とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。
- ※2 MSCI コクサイ・インデックスはMSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI に帰属します。
- ※3 MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI が開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI に帰属します。
- ※4 NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ※5 FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ※6 JP モルガンGBI-EM グローバル・ディバースファイドは、JP モルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJP モルガン社に帰属します。

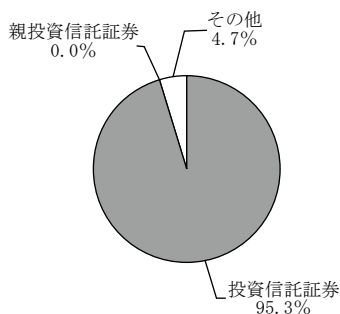
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

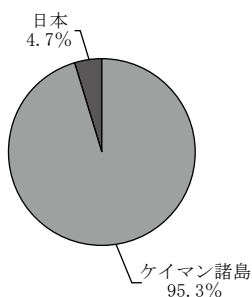
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	当期末
	2024年9月10日
	比率
パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券	95.3%
マネーアカウントマザーファンド	0.0
その他	4.7

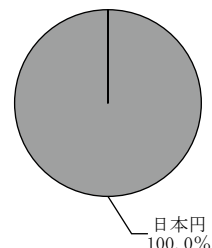
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

純資産等

項目	当期末
	2024年9月10日
純資産総額	2,301,043,129円
受益権総口数	378,425口
1口当たり基準価額	6,081円

(注) 設定時元本額は1,100,000円、期中における追加設定元本額は8,446,210,000円、同解約元本額は4,663,060,000円です。

組入上位ファンドの概要

パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券 (2023年9月8日から2024年6月30日まで)

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2023年9月8日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

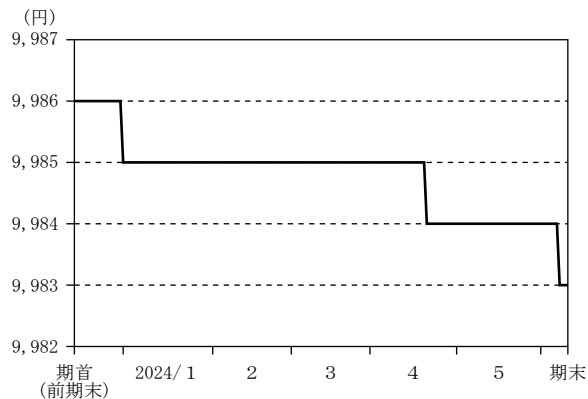
(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

以下はパッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンドの状況です。

「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ベア・ファンド - クラスE証券」に関して、2024年9月10日現在、開示できる情報はありません。

マネーアカウントマザーファンド（2023年12月12日から2024年6月10日まで）

■ 基準価額の推移



■ 組入銘柄

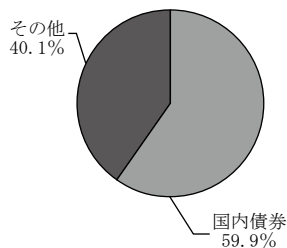
（組入銘柄数：2銘柄）

銘柄名	種類	利率	償還日	比率
第1226回国庫短期証券	国債	－%	2025/4/21	44.9%
第1207回国庫短期証券	国債	－	2025/1/20	15.0

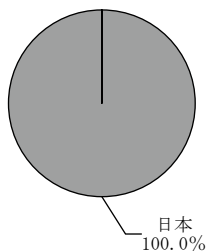
■ 1万口当たりの費用明細

計算期間において発生した費用はありません。

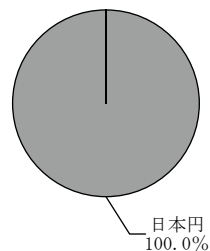
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
 (注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 国別配分は発行国を表示しております。
 ※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。



T&Dアセットマネジメント株式会社